

津房地区の皆様へ
まちづくり協議会の事務局は
月・火・木の週三日開いています
ご意見などお寄せ願います。

津房地区まちづくり協議会だより

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

第41号 令和2年3月
発行：津房地区まちづくり協議会
事務局：津房地区公民館内
電話：48-2001

次期まちづくり(長期)
計画書ができました

当協議会の活動を開始して今期が10年目を迎えたのを機に、次の10年間の活動指針となる計画書づくりの事業を昨年6月にスタートしたことは既報のとおりですが、その後、大分大学・山浦先生とゼミ生4人、当協議会役員および地区有志から成る策定委員との域学連携による会議を重ね、去る1月25日の第10回目の会議において最終案をまとめあげることが出来ました。

泊まり込みを含め、夜間の協議に遠路駆けつけてもらった山浦先生やゼミ生各位のご尽力、また、ご多忙にも拘わらず度重ね、長時間の会議に参加いただいた委員各位の熱意のおかげで、計画どおりの時期に完了となりました。

今回の計画書は、地区民各位のご協力得て行ったアンケート調査の集計、策定委員の夢や希望、そしてフレッシュな頭脳のゼミ生各位のアイデアを盛り込んだ内容と装丁になったと自画自賛していますが、近日開催予定の当協議会の定期総会において承認を得たのちに全世帯にお届けしますの、ご評価いただき、不足内容やご意見等があればごしどし事務局あてお寄せ願います。***



地区公民館での
会議のようす



最終回会議への参加者
集合写真

吉崎市から 視察来訪

去る2月25日、当宇佐市と同じように、小学校区を単位とした「住民と行政の協働のまちづくり」を目指した協議会の設立を進めている長崎県・吉崎市のみなさんの視察来訪を受けました。

メンバーは、同市の行政職9人、地域代表者7人、集落支援員10人、事務局2人から成る計28人で、深見地区まちづくり協議会での視察に続いての来訪でした。

視察の趣旨は協議会の設立までの手順、設立後の活動内容や活動を継続する上での留意点などの参考情報の入手でしたので、菅原会長、佐藤浩一副会長と二人の事務局で当協議会の設立経緯やこれまでの取り組み内容を紹介したあと、質疑応答と率直な意見交換により説明不足分を補いました。

交流内容より、当地によく似た状況下にあるようですが、行政サイドと地域代表の方いすれも「協働の取り組みで地区の活性化を！」との熱意が感じられ、視察を受け入れた当方も設立時の初心を思い起こすには良い機会となりました。

津房小学校、栄えある受賞!

2月26日付け大分合同新聞でご存じの方も多いでしょうが、津房小学校が、県下で4校のみ選出の「福祉優秀校」として栄えある表彰を受けました。

この賞は、福祉教育・活動へ熱心に取り組む学校を大分合同新聞社・大分合同福祉事業団が顕彰する制度で、大分合同新聞本社での表彰状授与式には坂本昭彦校長と児童代表の佐藤ひかりさん(六郎丸・5年生)が出席されました。

地区民各位ご存知のとおり、津房小の高学年児童諸君が季節の花を植栽したフラワーポットを春先と秋口の年2回、地区公民館、郵便局、津房温泉などの公共施設の玄関に届ける活動を長年続けていること、福祉施設への訪問や文化祭や運動会へ高齢者を招待して楽しいひと時を過ごしてもらった活動を長年続けてきたことが総合評価されての顕彰です。

歴代の先生方のご指導と素直に従う津房っ子たちあつての栄えある受賞で、地区にとって清々しいニュースでした。



春先と秋口の2回
フラワーポットを
運んでくれる津房っ子



表彰式での坂本校長と佐藤さん 右より2列目
(写真は合同新聞より転載)

吉崎市のみなさんと
視察あとの意見交換会

在りし日の宮川千代子さん
後列・中央



寄付等の紹介

一月二十日 尾立集落の

宮川 義直氏より

「ご令室の千代子さんの葬儀に関する香典返しの際としてご厚志をお寄せいただきました。

「ご厚志有り難く頂戴し、まちづくり事業費として有効に活用させていただきます。

なお、千代子さんには長年に亘って当協議会事業で婦人ボランティアメンバーとしてほぼ皆勤で参加頂きました。

本稿で改めてご紹介させていただきます、敬意を表させていただきます。 合掌

菅籠集落の

江藤 清次氏より

「ご母堂のツヤ子さん(87)へ針仕事を続けて心身ともにいつまでも元気にと薦められ、縫って頂いた心のこもった立派な雑巾を60枚ほど寄贈戴きました。

まちづくり活動、公民館、津房温泉の各所で有効活用させていただきます。



地区公民館の玄関を飾る季節の花々

